

| | | | |
|---|---|-------------|---------------------------|
| 授業科目名: 保育内容(健康) | 教員の免許状取得のための 必修科目 | 単位数: 2単位 | 担当教員名: 住本純 担当形態: 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | 学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容(健康)における専門的事項について指導する。 | | |
| 科目 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 領域に関する専門的事項 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤的知識・基礎的技能を身に付ける。 (1) 幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基盤をつくる時期と捉えた上で、領域「健康」のねらい・内容等について理解する。 (2) 幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などの特徴や意義などの専門的事項について理解する。 | | | |
| 授業の概要 領域「健康」の指導に関して、基盤となる知識や考え方を学習する。 まず幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達の意味を把握していく。その後、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について、映像資料や具体的事例などを活用しながら授業を進行していく。 | | | |
| 授業計画 第1回: 領域「健康」のねらいと内容 第2回: 乳幼児を取り巻く生活環境と健康課題 第3回: 健康の定義と乳幼児期の健康の意義 第4回: 乳幼児の身体的発達 第5回: 乳幼児の心の発達と健康 第6回: 乳幼児の運動機能の発達 第7回: 乳幼児の遊びの発達と健康 第8回: 乳幼児期の身体活動(運動遊び)の在り方 第9回: 幼児の体格・運動能力に関する測定評価 第10回: 乳幼児の基本的な生活習慣の現状と問題点 第11回: 乳幼児の基本的な生活習慣の形成 第12回: 乳幼児の安全管理と安全教育 第13回: 実際の事故事例と応急処置法 第14回: 領域「健康」における幼小連携の在り方 第15回: テスト(テストに関するフィードバックと解説) 科目修得試験 | | | |
| スクーリングでの学修 | | | |
| テキスト ・文部科学省「幼稚園教育要領解説(平成30年3月)」、 https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf | | | |
| 参考書・参考資料等 ・前橋明編著(2018)「コンパス 保育内容健康」、建帛社、978-4-767950600 ・住本純(2023)「幼児が楽しむ運動遊びの作り方」、一藝社、978-4-86359-275-9 | | | |
| 学生に対する評価 レポート評価(50%)、科目修得試験(50%) | | | |